



---

# 平成24年度海外農業情報調査分析事業(アジア)

---

農林水産省平成24年度委託事業

---

2013年3月

プロマーコンサルティング



---

# 平成24年度海外農業情報調査分析事業(アジア)

---

農林水産省平成24年度委託事業

---

2013年3月

プロマーコンサルティング

---

**PROMAR CONSULTING**

T: +81 (0)3 6222 0003, F: +81 (0)3 3206 0004

[www.promarconsulting.com](http://www.promarconsulting.com)

No. 3 Ishibashi Bldg. Suite 600,

1-10-12 Shinkawa Chuo-ku

*For further information about this report, please  
contact:*

Chisa Ogura

[cogura@promarconsulting.com](mailto:cogura@promarconsulting.com)



# はじめに

本冊子は、農林水産省委託事業「平成 24 年度海外農業情報調査分析事業(アジア)」の調査報告をとりまとめたものである。

1 部は「中国：第 12 次 5 カ年計画における農業・農村政策に見る今後の「三農政策」の展開方向」として、中国の 2011～2015 年の 5 年間を対象とした第 12 次 5 ヶ年計画と、共産党が毎年年初に発表する一号文件において、三農政策がどのように扱われ、今後どのような方向性を持つかという点をとりまとめる。特に中国は 2007 年以降国際的な穀物価格高騰を受けて食糧生産の確保をより重視する方向を打ち出し、様々な施策の導入を進め、第 12 次 5 ヶ年計画の三農関連部門で最重要の課題としているため、本事業では特に食糧政策に注目しながら分析している。

2 部は「中国東北三省における農業生産及び農業政策」として、中国東北の遼寧省、吉林省、黒竜江省の三省の現状と政策の方向性についてとりまとめる。東北三省は、中国の中でも特にトウモロコシ、コメ、大豆の食糧主産地として、近年ますます政策的な重要性を増している。また、高付加価値化のためにトウモロコシの工業用加工（アルコールやでん粉、化工品など）も積極的に推進されており、コメの精米加工に大型の最新設備の導入が次々とみられるなど、農産加工分野でも進展がみられる。また他に、地場の飼料作物が利用できるため、酪農や養豚産業の発展についても重点地域とされている。本報告書では、食糧生産分野を中心に、加工や畜産についても触れながら、東北地方の農業生産とそれを支えている各省の農業政策について調査を実施した。

3 部は「タイのコメに関する農家所得補償政策の変遷及び大洪水がタイの農業政策に与えた影響」として、2011 年にタイ政府が復活させた籾米担保融資制度を中心に、タイのコメ政策と洪水の影響をとりまとめた。タイ政府が市場価格を大きく上回る価格での買い上げを急拡大して民間輸出業者へ流れるコメが極端に減少したため、タイは 2012 年に最大コメ輸出国の地位を明け渡し、インド、ベトナムに次ぐ 3 位に転落した。タイ政府は政府間貿易で在庫を整理する目論見であるが、目下の所、政府間貿易は順調で無く、在庫が積みあがっている。一方、コメ生産は 2013 年も比較的順調と見込まれ、今後タイ政府が抱え込んだ大量の政府在庫をどのように処理するのかという点に、国際的な注目が集まっている。

4 部は「インドネシアの農林水産業の現状及び農業政策」として、食料自給政策を推進するインドネシア政府の農業政策の現状についてとりまとめる。インドネシアは 2007 年にコメ自給を達成したとしているものの、備蓄維持を目的として 2011 年にも 200 万トンを入力しており、コメ増産が引き続き重要課題である。さらに食生活の多様化により小麦・小麦粉や飼料・油脂原料となるトウモロコシ・大豆の確保も必要不可欠となってきた。インドネシア政府は 2012 年に新食料法を公布し、主要 5 品目（コメ、トウモロコシ、牛肉、砂糖、大豆）の増産と自給率向上をより強力に推し進める方針を打ち出し、3 年以内に新たな食料監督機関を設置するとしている。これまでコメの供給・価格調整を行ってきた食料調達公社（BULOG）の役割が今後大幅に変更される可能性があり、注目される。

なお、事業の実施にあたってそれぞれ検討委員会を 3 回開催し、事業実施と報告書とりまとめの各段階でご指導いただいた。また、本事業の成果の多くは現地調査におけるヒアリングに基づいており、ご協力いただいた方々に深く感謝している。本報告書が、今後のアジアの農業・農業政策事情を検討する上での一助となれば幸いである。

プロマーコンサルティング  
常務取締役 吉田 里絵



---

# 全体目次

---

第一部 中国：第12次5カ年計画における農業・農村政策に見る今後の「三農政策」の展開方向.....	1-1～1-96
第二部 中国東北三省における農業生産及び農業政策.....	2-1～2-49
第三部 タイのコメに関する農家所得補償政策の変遷及び大洪水がタイの農業政策に与えた影響.....	3-1～3-63
第四部 インドネシアの農林水産業の現状及び農業政策.....	4-1～4-47

